

弘前商工会議所企業景況調査結果【令和7年4～6月期】

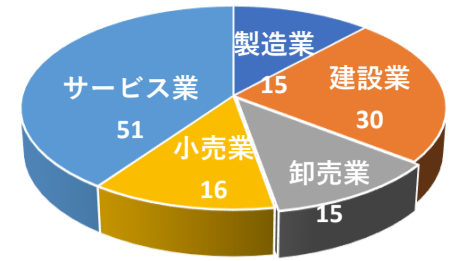
1 調査対象・・・ 弘前商工会議所会員企業

2 調査対象期間・・・ 令和7年4月～6月期

3 調査方法及び回答方法・・・ 当所7月会報に折込発送、FAX並びに回答フォームにて回答

4 回答企業の内訳・・・

業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
回答数(件)	15	30	15	16	51	127
構成比	12%	24%	12%	13%	40%	100%



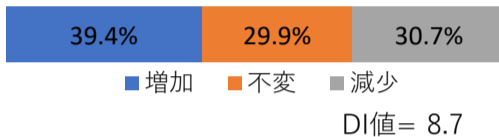
5 業況について・・・

※DI値(景況判断指数)について $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりという意味します。

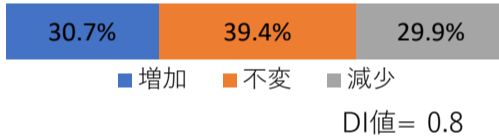
○「売上額」について

・4月～6月の「売上額」実績は、去年同期と比較して
<全業種>

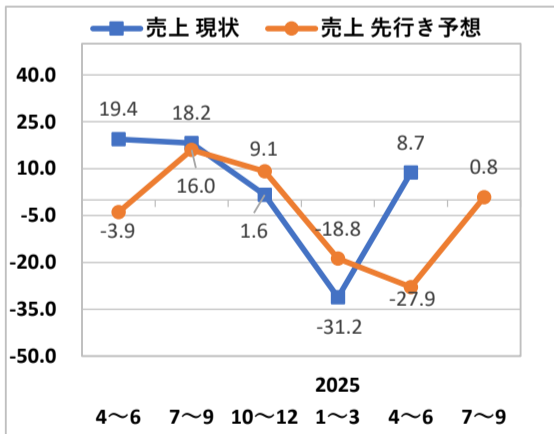


業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	20.0%	26.7%	53.3%	-33.3
建設業	30.0%	33.3%	36.7%	-6.7
卸売業	60.0%	13.3%	26.7%	33.3
小売業	62.5%	18.8%	18.8%	43.8
サービス業	37.3%	37.3%	25.5%	11.8

・7月～9月の「売上額」予想は、去年同期と比較して
<全業種>



業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	13.3%	33.3%	53.3%	-40.0
建設業	20.0%	43.3%	36.7%	-16.7
卸売業	40.0%	26.7%	33.3%	6.7
小売業	37.5%	37.5%	25.0%	12.5
サービス業	37.3%	43.1%	19.6%	17.6



◇DI(前年同期比)が前回調査(1～3月期:▲31.2)より39.9ポイント回復して8.7となりました。

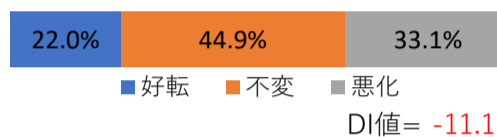
◇先行き(7～9月期)の予想については、前回調査(4～6月期:▲27.9)より28.7ポイント回復して0.8ポイントとなりました。

○今期・来期ともに大きく回復

売上額について、製造業・建設業では「悪化」の回答が多いものの、全体としては大きく回復し、DI値では今期8.7ポイント、来期0.8ポイントとなりました。

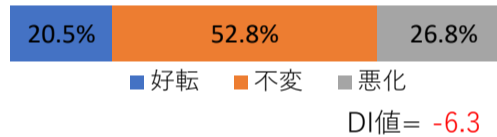
○「採算(純利益)」について

・4月～6月の「採算」実績は、去年同期と比較して
<全業種>

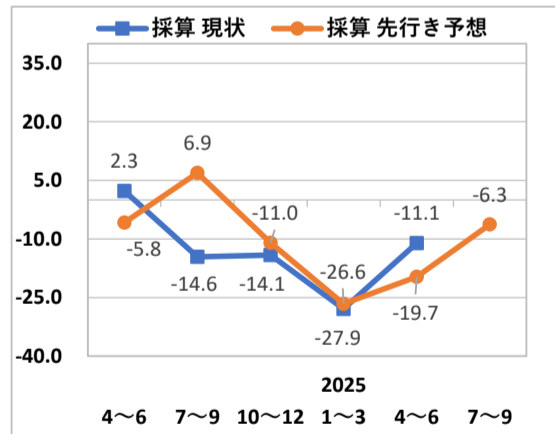


業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	13.3%	40.0%	46.7%	-33.3
建設業	13.3%	43.3%	43.3%	-30.0
卸売業	20.0%	40.0%	40.0%	-20.0
小売業	43.8%	37.5%	18.8%	25.0
サービス業	23.5%	51.0%	25.5%	-2.0

・7月～9月の「採算」予想は、去年同期と比較して
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	13.3%	53.3%	33.3%	-20.0
建設業	13.3%	56.7%	30.0%	-16.7
卸売業	13.3%	46.7%	40.0%	-26.7
小売業	25.0%	50.0%	25.0%	0.0
サービス業	27.5%	52.9%	19.6%	7.8



◇DI(前年同期比)が前回調査(1～3月期:▲27.9)より16.8ポイント回復して▲11.1となりました。

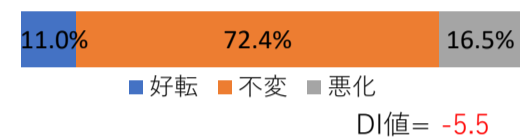
◇先行き(7～9月期)の予想については、前回調査(4～6月期:▲19.7)より13.4ポイント回復して▲6.3となりました。

○今期・来期ともに回復

採算(純利益)について、DI値ではマイナスとなっているもののマイナス幅が減少し、DI値では今期▲11.1ポイント、来期▲6.3ポイントとなりました。

○「資金繰り」について

・4月～6月の「資金繰り」実績は、去年同期と比較して
<全業種>

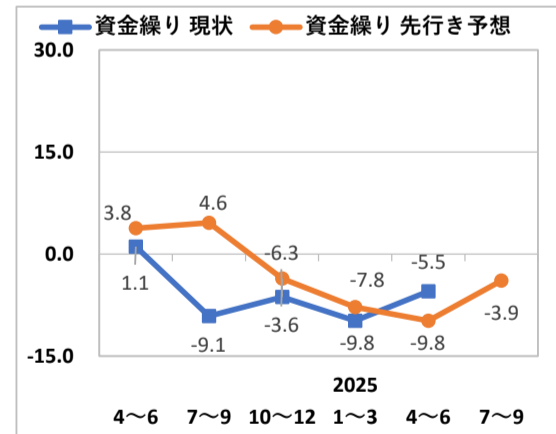


業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	80.0%	20.0%	-20.0
建設業	10.0%	66.7%	23.3%	-13.3
卸売業	0.0%	73.3%	26.7%	-26.7
小売業	12.5%	81.3%	6.3%	6.3
サービス業	17.6%	70.6%	11.8%	5.9

・7月～9月の「資金繰り」予想は、去年同期と比較して
<全業種>



業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	93.3%	6.7%	-6.7
建設業	13.3%	66.7%	20.0%	-6.7
卸売業	0.0%	66.7%	33.3%	-33.3
小売業	6.3%	87.5%	6.3%	0.0
サービス業	17.6%	70.6%	11.8%	5.9



◇DI(前年同期比)が前回調査(1～3月期:▲9.8)より4.3ポイント回復して▲5.5となりました。

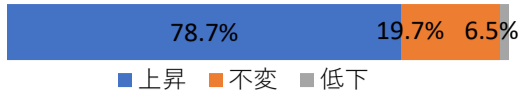
◇先行き(7～9月期)の予想については、前回調査(4～6月期:▲9.8)より5.9ポイント回復して▲3.9となりました。

○今期・来期ともに若干の回復

資金繰りに関して、今期・来期ともに「不変」の回復が最も多いですが、DI値では若干の回復となりました。

○「仕入単価」について

・4月～6月の「仕入単価」実績は、昨年同期と比較して
<全業種>



DI値= 77.2

業種	上昇	不変	低下	DI値
製造業	80.0%	13.3%	6.7%	73.3
建設業	83.3%	16.7%	0.0%	83.3
卸売業	86.7%	13.3%	0.0%	86.7
小売業	87.5%	12.5%	0.0%	87.5
サービス業	70.6%	27.5%	2.0%	66.6

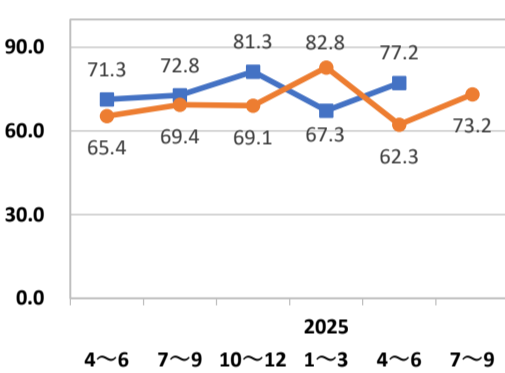
・7月～9月の「仕入単価」予想は、昨年同期と比較して
<全業種>



DI値= 73.2

業種	上昇	不変	低下	DI値
製造業	60.0%	40.0%	0.0%	60.0
建設業	80.0%	20.0%	0.0%	80.0
卸売業	80.0%	20.0%	0.0%	80.0
小売業	75.0%	25.0%	0.0%	75.0
サービス業	70.6%	29.4%	0.0%	70.6

仕入単価 現状 仕入単価 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (1～3月期: 67.3) より9.9ポイント増加して77.2となりました。

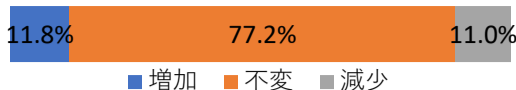
◇先行き (7～9月期) の予想については、前回調査 (4～6月期: 62.3) より10.9ポイント増加して73.2となりました。

○「増加」最多の回答

仕入単価について、多くの企業で「増加」と回答。DI値では今期・来期ともにやや増加し、高止まり状態が続く見通しです。

○「製品・商品在庫」について

・4月～6月の「製品・商品在庫」実績は昨年同期と比較して
<全業種>



DI値= 0.8

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	13.3%	60.0%	26.7%	-13.3
建設業	10.0%	83.3%	6.7%	3.3
卸売業	40.0%	46.7%	13.3%	26.7
小売業	18.8%	68.8%	12.5%	6.3
サービス業	2.0%	90.2%	7.8%	-5.9

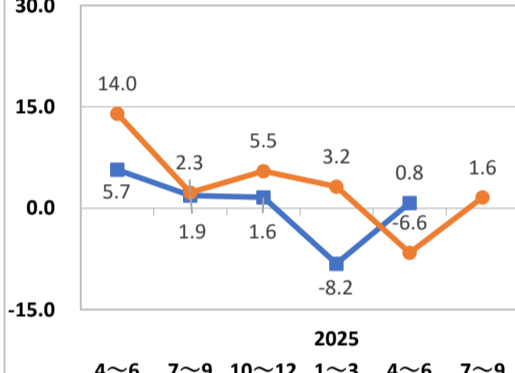
・7月～9月の「製品・商品在庫」予想は、昨年同期と比較して
<全業種>



DI値= 1.6

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	13.3%	60.0%	26.7%	-13.3
建設業	10.0%	83.3%	6.7%	3.3
卸売業	40.0%	53.3%	6.7%	33.3
小売業	12.5%	75.0%	12.5%	0.0
サービス業	3.9%	88.2%	7.8%	-3.9

在庫 現状 在庫 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (1～3月期: ▲8.2) より7.4ポイント回復して0.8となりました。

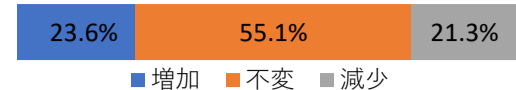
◇先行き (7～9月期) の予想については、前回調査 (4～6月期: ▲6.6) より8.2ポイント回復して1.6となりました。

○今期・来期ともに大きく回復

製品・商品在庫において、DI値では大きく回復し、今期0.8ポイント、来期8.2ポイントとなりました。

○「従業員数」について

・4月～6月の「従業員数」実績は、昨年同期と比較して
<全業種>



DI値= 2.4

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	26.7%	66.7%	6.7%	20.0
建設業	10.0%	66.7%	23.3%	-13.3
卸売業	46.7%	46.7%	6.7%	40.0
小売業	12.5%	62.5%	25.0%	-12.5
サービス業	27.5%	45.1%	27.5%	0.0

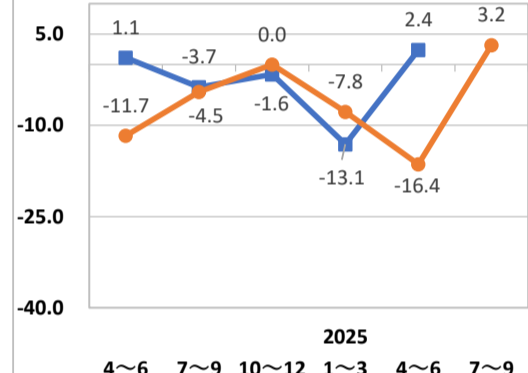
・7月～9月の「従業員数」予想は、昨年同期と比較して
<全業種>



DI値= 3.2

業種	増加	不変	減少	DI値
製造業	20.0%	73.3%	6.7%	13.3
建設業	10.0%	76.7%	13.3%	-3.3
卸売業	6.7%	86.7%	6.7%	0.0
小売業	6.3%	75.0%	18.8%	-12.5
サービス業	24.0%	62.0%	14.0%	10.0

従業員数 現状 従業員数 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (1～3月期: ▲13.1) より15.5ポイント回復して2.4となりました。

◇先行き (7～9月期) の予想については、前回調査 (4～6月期: ▲16.4) より19.6ポイント回復して3.2となりました。

○今期・来期ともに大きく回復

従業員数について、DI値では大きく回復し、今期2.4ポイント、来期3.2ポイントとなりました。しかし、企業の声からは人手不足が多い回答でした。

○「自社景況」について

・4月～6月の業況 (貴社) 実績は昨年同期と比較して
<全業種>



DI値= -3.2

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	13.3%	46.7%	40.0%	-26.7
建設業	16.7%	56.7%	26.7%	-10.0
卸売業	0.0%	60.0%	40.0%	-40.0
小売業	37.5%	50.0%	12.5%	25.0
サービス業	33.3%	43.1%	23.5%	9.8

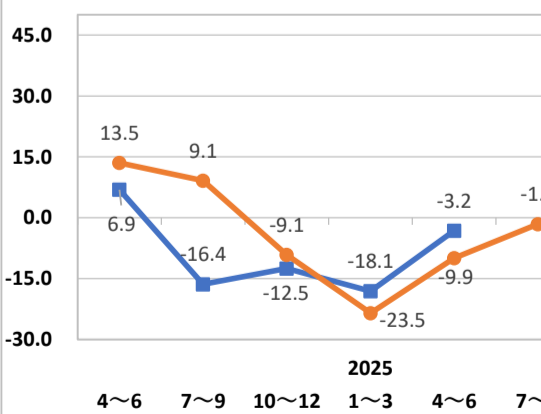
・7月～9月の業況 (貴社) 予想は昨年同期と比較して
<全業種>



DI値= -1.6

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	13.3%	53.3%	33.3%	-20.0
建設業	20.0%	56.7%	23.3%	-3.3
卸売業	6.7%	53.3%	40.0%	-33.3
小売業	18.8%	62.5%	18.8%	0.0
サービス業	31.4%	51.0%	17.6%	13.7

自社景況 現状 自社景況 先行き予想



◇DI (前年同期比) が前回調査 (1～3月期: ▲18.1) より14.9ポイント回復して▲3.2となりました。

◇先行き (7～9月期) の予想については、前回調査 (4～6月期: ▲9.9) より8.3ポイント回復して▲1.6となりました。

○今期・来期ともに大きく回復

自社景況について、DI値では以前マイナスではありますが、大きく回復し、今期▲3.2ポイント、来期▲1.6ポイントとなりました。

○「業界景況」について

・4月～6月の「業界景況」実績は、昨年同期と比較して

<全業種>



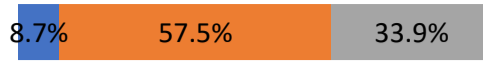
■好転 ■不変 ■悪化

DI値 = -22.8

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	53.3%	46.7%	-46.7
建設業	10.0%	73.3%	16.7%	-6.7
卸売業	0.0%	33.3%	66.7%	-66.7
小売業	6.3%	62.5%	31.3%	-25.0
サービス業	17.6%	52.9%	29.4%	-11.8

・7月～9月の「業界景況」予想は、昨年同期と比較して

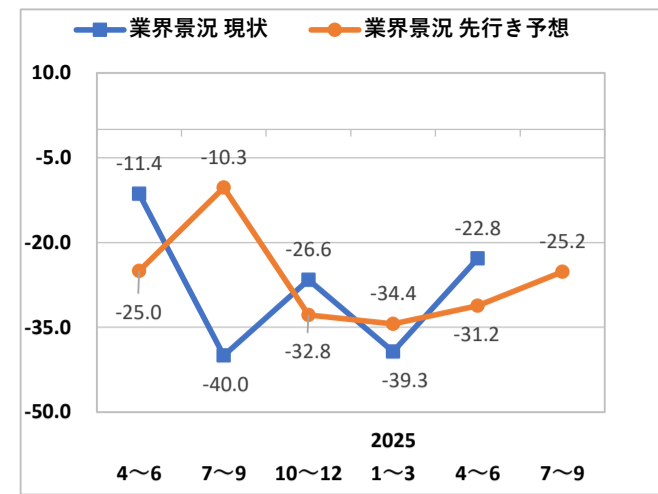
<全業種>



■好転 ■不変 ■悪化

DI値 = -25.2

業種	好転	不変	悪化	DI値
製造業	0.0%	60.0%	40.0%	-40.0
建設業	3.3%	73.3%	23.3%	-20.0
卸売業	6.7%	26.7%	66.7%	-60.0
小売業	0.0%	75.0%	25.0%	-25.0
サービス業	17.6%	51.0%	31.4%	-13.7



◇DI（前年同期比）が前回調査（1～3月期：▲39.3）より16.5ポイント回復して▲22.8となりました。

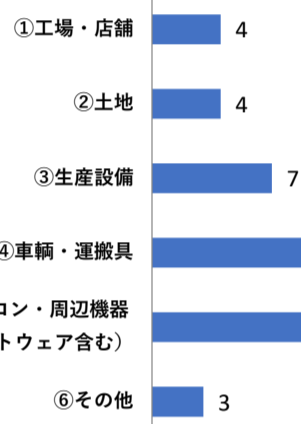
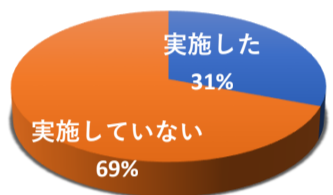
◇先行き（7～9月期）の予想については、前回調査（4～6月期：▲31.2）より6.0ポイント回復して▲25.2となりました。

○DI値では大きくマイナスではあるが回復

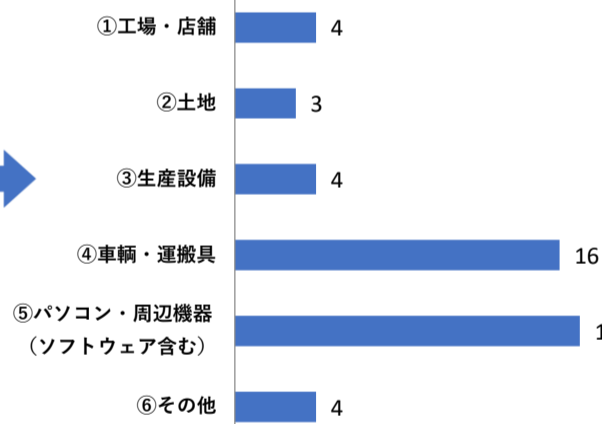
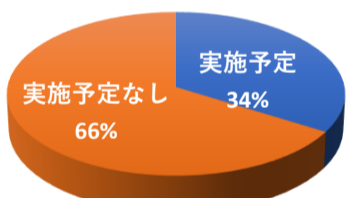
業界景況について、DI値では大きくマイナス状態が続いていますが、今期は16.5ポイント回復し、▲22.8となりました。

○設備投資の実施状況及びその内容について ※複数回答

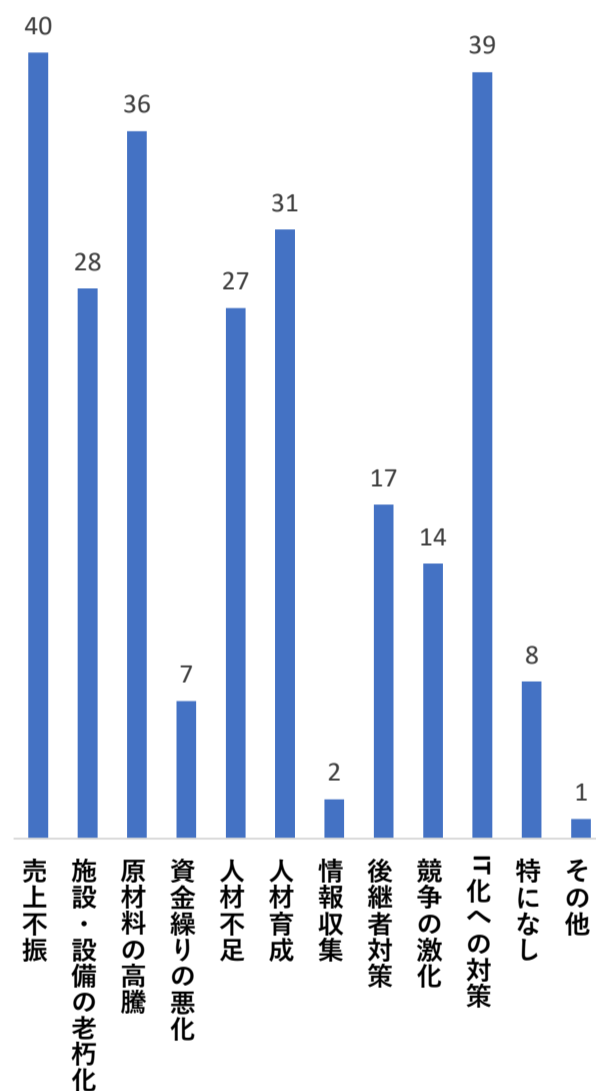
・4月～6月の設備投資について



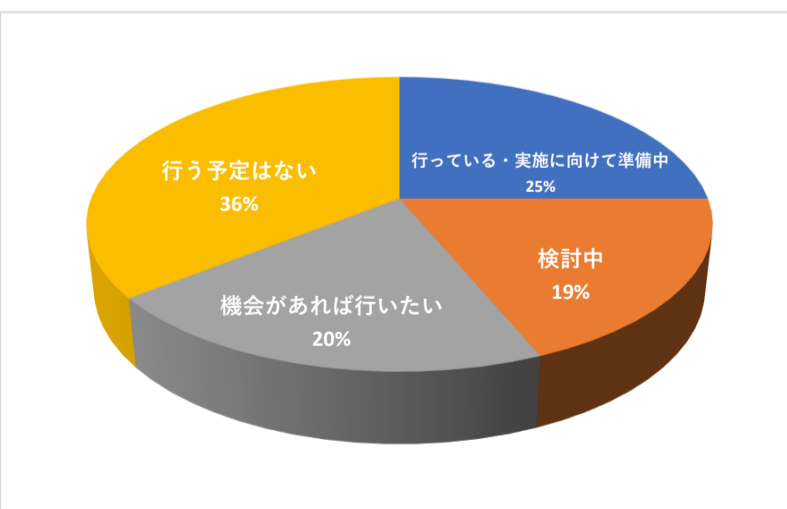
・7月～9月の設備投資の見通しについて



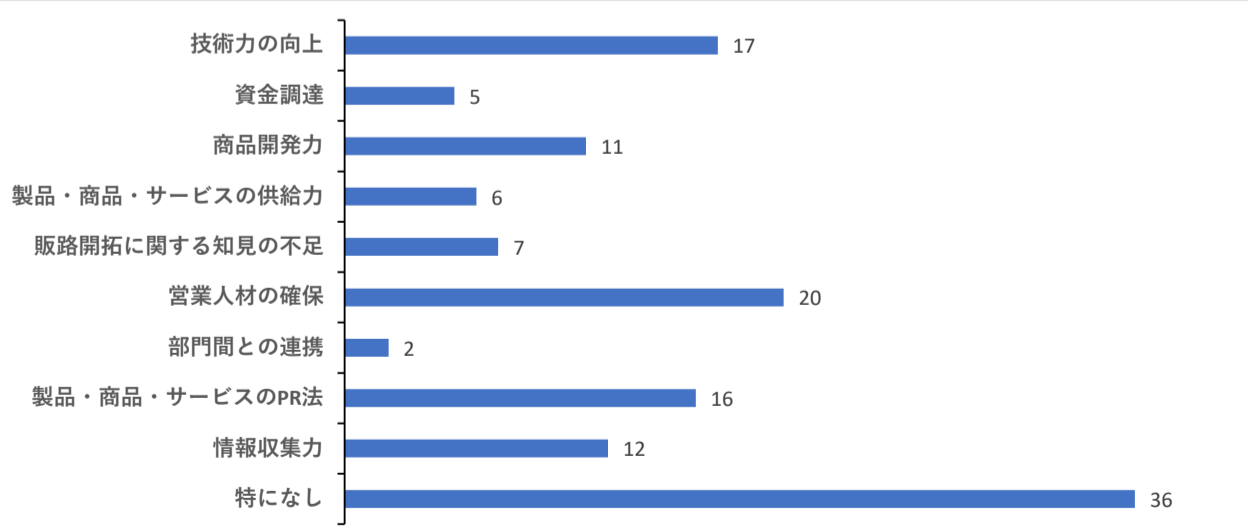
○経営上の課題について（業種別）※複数回答



○商品開発について



○商品開発の課題について



○商品開発について「行っていない」が最多

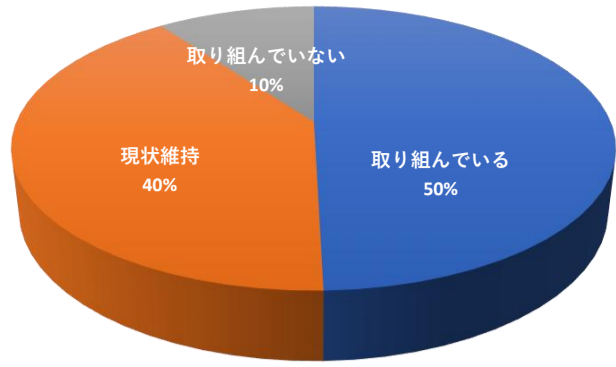
商品開発について、最多は「行っていない」が36%、次いで「行っている・実施に向けて準備中」が25%となり二極化の回答となりました。

また、「検討中」、「機会があれば行いたい」と合わせると39%となり、潜在的に関心を持つ企業が多いことがうかがえます。

○商品開発の課題について、「営業人材の確保」が最多

商品開発の課題について、最多は「営業人材の確保」が20件、次いで「技術力の向上」が17件、「製品・商品・サービスのPR方法」が16件となりました。「経営上の問題」の中でも人手不足や人材不足と答える企業が多く、商品開発を「検討中」、「機会があれば行いたい」と回答した企業の問題点となっているよううかがえます。

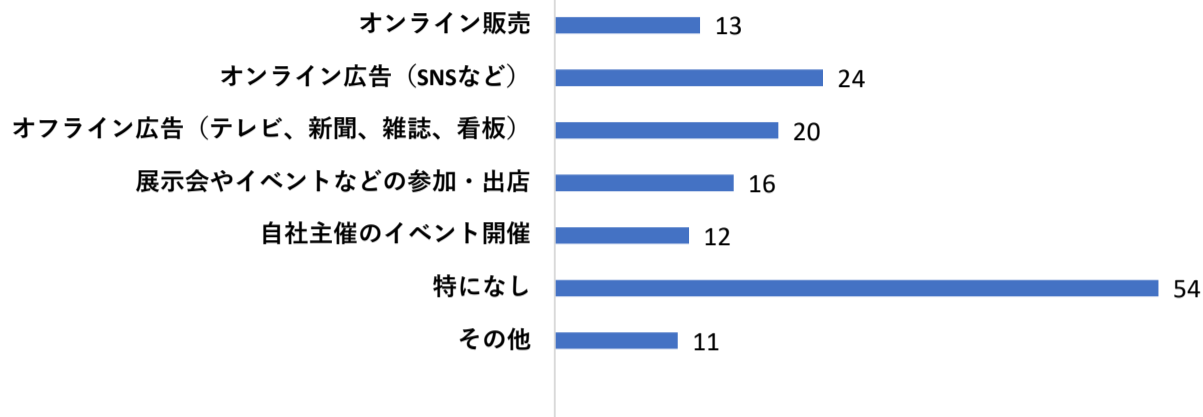
○販路拡大について



○販路拡大について、半数の企業で「取組んでいる」と回答

販路拡大について、「取組んでいる」が50%、「現状維持」が40%、「取組んでいない」が10%となりました。半数が取組んでいる中で、4割が「現状維持」と回答しています。競争の激しい市場環境で生き残るため、積極的な攻めの姿勢を取る企業と、安定性を優先する企業に分かれているようにうかがえます。

○販路拡大の取組事項について

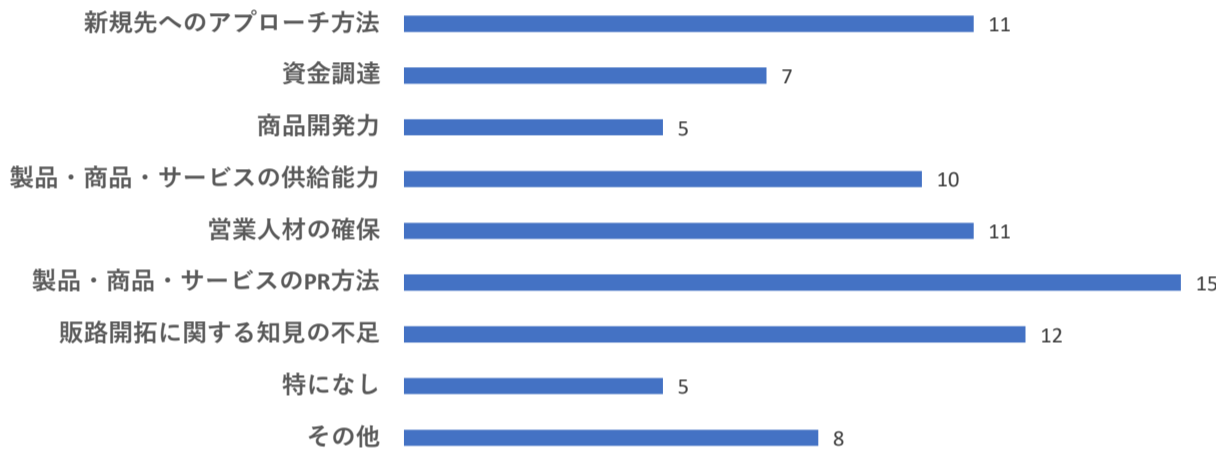


○「オンライン広告 (SNSなど)」が最多

取組事項については、「オンライン広告 (SNSなど)」が最多の24件、次いで「オフライン広告 (テレビ、新聞、雑誌、看板)」が20件、「展示会やイベントなどの参加・出店」16件となりました。(「特になし」を除く)

その他の回答としては、「直接訪問」「相手先の情報収集」、「既存取引の掘り起こし」、「交流会参加」、「MEO対策」などがありました。

○販路拡大の課題



○販路拡大の課題は「製品・商品・サービスのPR方法」が最多

販路拡大の課題については、方法や知識に関する回答が多く、最多は「製品・商品・サービスのPR方法」15件、次いで、「販路開拓に関する知見の不足」が12件、「新規先へのアプローチ方法」が11件となりました。

その他の回答としては、「相手先の与信の把握」、「作業員の確保」がありました。

○経営上の問題について (企業の生の声)

カテゴリー	企業の生の声 (一部抜粋)	業種
人材関係	人材不足、建築の営業・受注不足	製造業
	社員の高齢化が進んでいる	建設業
	人を増やしたくハローワークで求人しているが誰も来ない	建設業
	販売力のある人材	小売業
	求人難	サービス業
	人材の確保に苦慮している。自社アピール不足、他社との優位性を見出せず、求人を出しても応募がない点	サービス業
物価高騰関係	海外製造が多い業界のため、国内製造量が伸び悩んでいる状況。物価高のため嗜好品の買い控えが続いている気がする	製造業
	人件費の高騰	製造業
	取引先の原価が上がっている。従業員の給料を上げたいが思うように上げられない。売り上げは上がっているが経費もUPしている。	建設業
	あからさまに公共工事が春から減ってきたので民間工事も増えているが、材料費の値上げについていけない。外気温が高すぎて作業効率が落ちているが、打開策がない	建設業
	原価・人件費・資材費・運賃・外注費すべてが値上がりしているが、販売への上乗せがうまくできていない。また、2024年問題により小ロットでの運搬が困難になり、いくつかの取引先に販売ができなくなった。	卸売業
	仕入の高騰が今季著しかったのですが、そのすべてを商品価格に反映させることは難しく、薄利にならざるを得ない商品が多数あります。来期の価格改定に少しずつ解消させる予定ですが、再びの値上げの可能性もあり、なかなか難しいのが現状です。	小売業
	最低賃金上昇スピードが経営実態に合わない	サービス業
	食材、特に米の高騰。時給の高騰。売上は増えたが、収益は減った。	サービス業
その他	原材料不足	製造業
	競争が激しく利益確保が厳しくなっている	建設業
	会社の認知度、集客力、生産力の安定	建設業
	拡大のための資金調達	卸業
	オンライン広告からの集客を増やしたい	小売業
	テナント誘致	小売業
	妻と二人で切り盛りしているので繁忙期には捌けない時もあり、お客様を帰してしまう事がある	小売業
	国による介護報酬改悪	サービス業
	施設・設備の老朽化	サービス業
	来年度の税金の準備金を積立てるのがとても厳しい	サービス業
	AI対応	サービス業